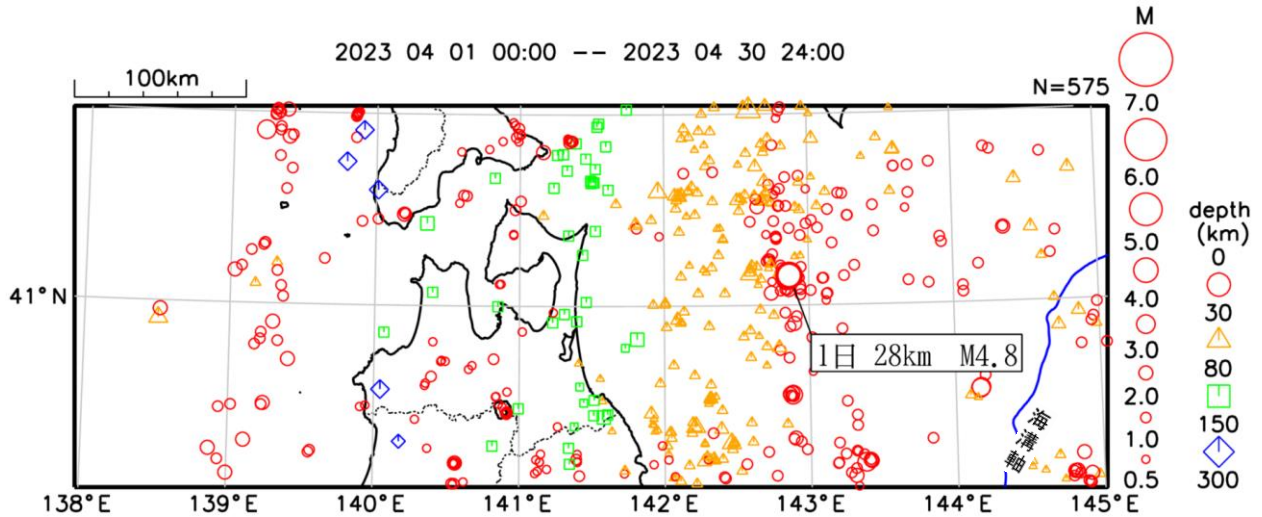


青森県月間地震概況

2023年4月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【4月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は575回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回であった。

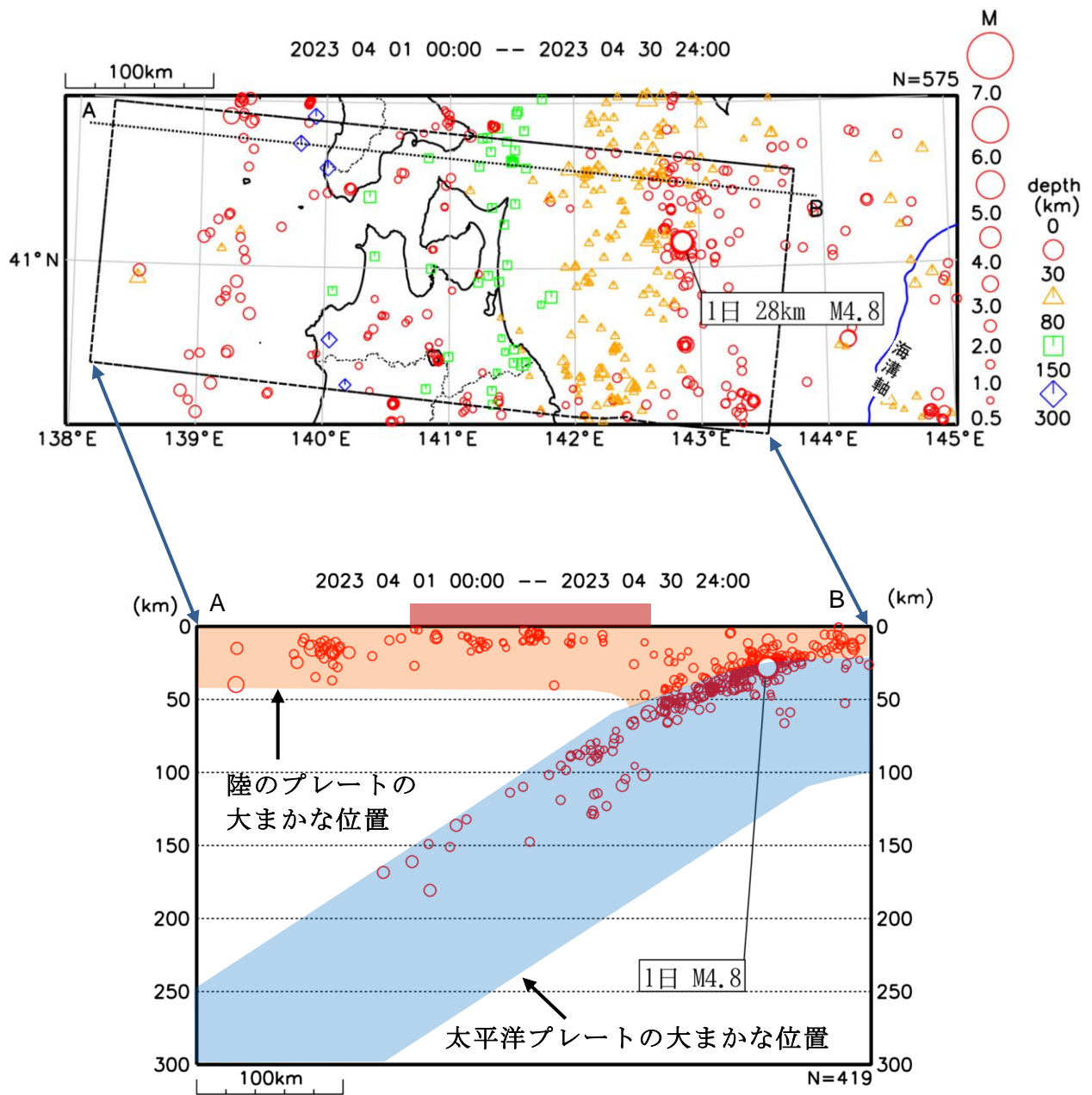
1日00時29分に青森県東方沖の深さ28kmでM4.8の地震が発生し、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した。県内では五戸町、七戸町、野辺地町で震度2を観測するなど、三八上北、津軽北部及び下北の一部で震度2～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

25日22時31分に岩手県沿岸北部の深さ51km（図の範囲外）でM4.1の地震が発生し、青森県、岩手県、宮城県で震度2～1を観測した。県内では、八戸市、南部町、階上町で震度2を観測するなど、三八上北の一部で震度2～1を観測した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年4月1日～2023年4月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年04月01日00時29分	青森県東方沖	41° 09.3' N	142° 51.9' E	28km	M4.8
青森県	震度 2 : 野辺地町野辺地* 七戸町森ノ上* 五戸町古館 震度 1 : 青森市花園 平内町東田沢* 蓬田村蓬田* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 青森南部町沖田面* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金谷* むつ市金谷* むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*				
2023年04月15日11時40分	岩手県沖	39° 08.7' N	142° 23.7' E	45km	M4.3
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市南郷* 五戸町古館				
2023年04月21日21時43分	岩手県沖	40° 16.8' N	142° 27.3' E	34km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市内丸* 八戸市南郷* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平*				
2023年04月25日22時31分	岩手県沿岸北部	39° 58.7' N	141° 57.1' E	51km	M4.1
青森県	震度 2 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* 震度 1 : 八戸市島守 八戸市南郷* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 田子町田子* 青森南部町沖田面*				
2023年04月27日10時40分	青森県東方沖	41° 35.7' N	141° 57.4' E	60km	M3.6
青森県	震度 1 : 東通村砂子又沢内*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

6月15日(木)に、 緊急地震速報の訓練を開催します。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒とごくわずかです。その短い時間内であわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには、日頃からの訓練が重要です。

消防庁及び気象庁は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を介して緊急地震速報（訓練用）を配信します。

地域住民の皆様におかれましては、お住まいの市町村等からの訓練のお知らせをご確認いただくとともに、積極的に訓練にご参加ください。

・訓練実施日時

令和5年6月15日（木）10時00分頃

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の発表を中止します。

・訓練で使用する緊急地震速報について

※6月15日の訓練において、**緊急地震速報（訓練用）は全国瞬時警報システム（Jアラート）による配信のみとなります。**緊急地震速報配信事業者からの配信はありませんので、緊急地震速報受信端末、携帯電話（緊急速報メール/エリアメール）、テレビ、ラジオからは報知はされません。

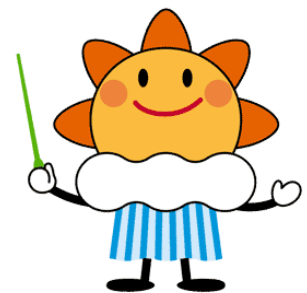
※今回の訓練で発表する緊急地震速報の詳細（震源、地震規模等）は、気象庁ホームページでご確認ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

訓練実施にあたっては、あらかじめどのような行動を取るのかを考えておく事が大切です。家族や職場で地震が発生したときどうするのかを、少しでも多くの人々と考えてみましょう。基本は、「あわてず、まず身の安全を守る」ことです。

地震に備えましょう！！

- ・強い揺れに見舞われると、家具の落下や、転倒、ガラスの破損などが起きることが想定されます。
- ・「緊急地震速報」を見聞きしても、これらの危険に対する備えができていなければ身の安全を守ることはできません。
- ・日頃から地震への備えを心がけると共に、室内の安全な場所を把握しておきましょう。



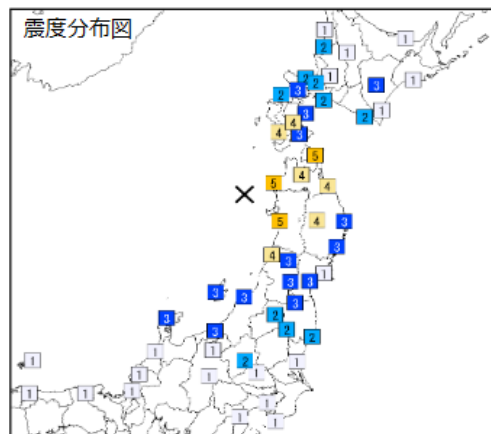
気象庁マスコットキャラクター
はれるん

青森県内で過去 5 月に発生した地震災害事例

「昭和 58 年(1983 年)日本海中部地震」 ～今年の5月 26 日で発生から 40 年になります～

【日本海中部地震の概要】

昭和 58 年 5 月 26 日 11 時 59 分、秋田県沖で M7.7 の地震が発生し、青森県、秋田市などで震度 5 を観測したほか、北海道から中国地方にかけての広い範囲で震度 4～1 を観測しました。能代港の検潮所では 194cm の津波が観測されました。また、現地調査によると、津波の高さは青森県沿岸から秋田県男鹿半島沿岸にかけて 5～6 m に達しました。この地震・津波により、青森県内では死者 17 名、負傷者 25 名、住家全半壊 1,312 棟など大きな被害が発生しました。被害の特徴として津波による被害が大きく、県内の死者 17 名は津波によるものでした。



気象庁秋田地方気象台ホームページ

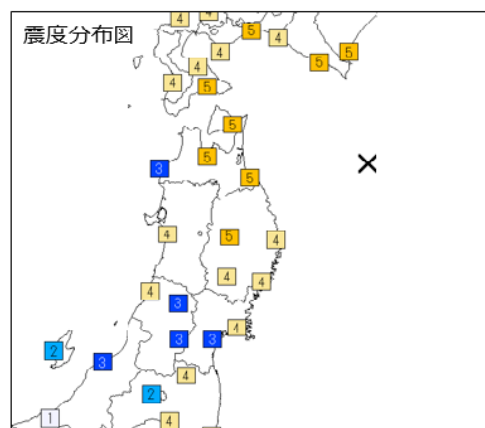
昭和 58 年 (1983 年) 日本海中部地震

https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/saigai_tyubu.html

「1968 年十勝沖地震」 ～今年の5月 16 日で発生から 55 年になります～

【十勝沖地震の概要】

昭和 43 年 5 月 16 日 09 時 48 分、青森県東方沖で M7.9 の地震が発生し、北海道、青森県、岩手県で震度 5 を観測し、東北地方や北海道の太平洋沿岸で 5m 前後の津波が観測されました。青森県内では 46 人が死亡、2 人が行方不明となりました。
(青森県による)



地震から身を守ることが大切です。

地震が発生したら、まず身の安全を守る。

津波から命を守ることが大切です。

海岸で強い揺れを感じたり、弱い揺れでも長い時間揺れを感じたら、津波警報等の発表を待たずに高台へ避難する。